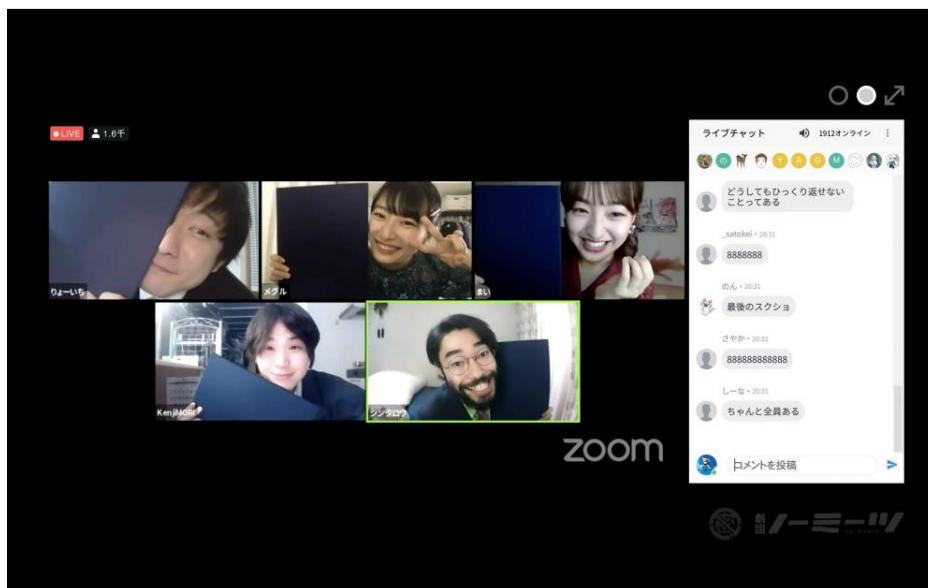


コロナ禍で旗揚げしたフルリモート劇団「劇団ノームーツ」 第24回文化庁メディア芸術祭にて エンターテインメント部門『優秀賞』受賞

“自宅にいながらエンタメを”試行錯誤して生まれた「オンライン演劇」
1年間で3万人以上動員！さらなるエンタメの新しいカタチの追求へ

劇団ノームーツ（主宰：広屋佑規・林健太郎・小御門優一郎）は2021年3月12日、第24回文化庁メディア芸術祭のエンターテインメント部門にて、オンライン演劇として初となる優秀賞を受賞しました。



劇団ノームーツは「NO密で濃密なひとときを」をテーマに、稽古から上演まで一度も会わずに活動するフルリモート劇団です。2020年4月に発足してから2ヶ月足らずで長編リモート演劇『門外不出モロトリアム』を上演し、第二弾『むこうのくに』第三弾『それでも笑えれば』と合わせた3公演で、有料チケット制にもかかわらず累計14,000人以上を動員しました。また、ピューロランドやHKT48とコラボレーションしたオンライン演劇もプロデュースしており、「不要不急」ともされそうになったエンターテインメントの場にオンライン演劇を使った新たな可能性を日々探求しています。現在コラボも含めた総動員数は3万人を突破しました。

この度、メディア芸術の総合フェスティバル「文化庁メディア芸術祭」にて世界103の国と地域、3,693作品の中から、エンターテインメント部門で優秀賞を受賞しました。コロナ禍に生まれた「オンライン演劇」のジャンルとして初となります。

■ 主宰：広屋佑規コメント

コロナ禍で旗揚げした劇団が、まさか1年後にメディア芸術祭のエンターテインメント部門で優秀賞をいただけるなんて…！私達が当時、自宅にいながら表現できることを必死に探し、試行錯誤の中でたどり着いた“オンライン演劇”という形は、結果的に3万人以上の方々に楽しんでもらうことができました。諦めることなく前を向き、無邪気に歩みを進めることができれば、道は開ける。そう強く感じた1年になりました。この受賞を糧に、更にオンラインでのエンターテインメントの可能性、追求していきたいと思えます。この度は榮譽ある賞をありがとうございました！

■文化庁メディア芸術祭とは

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。平成9年度（1997年）の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。

第23回は、世界107の国と地域から3,566点に及ぶ作品の応募がありました。文化庁メディア芸術祭は多様化する現代の表現を見据える国際的なフェスティバルへと成長を続けています。また、文化庁では、メディア芸術の創造とその発展を図ることを目的に、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を国内外で広く紹介する多彩な事業を実施しています。海外・国内展開や創作活動支援等の関連事業を通じ、次代を見据えたフェスティバルを目指しています。

（文化庁メディア芸術祭HPより抜粋：<https://j-mediaarts.jp/about/>）

■審査員からのコメント

新型コロナウイルスの世界的な流行は、我々の生活に大きく影を落とした。どうやって生きていけばいいのか。何を楽しみに暮らせばいいか。立ち上がった大きな疑問符を、どう作品に取り込むか。世界中のクリエイターが頭を悩ませていたなか、彼らの動きは非常に早かった。学校も、職場も、リモート環境が前提となった。美術館へ遊びにいったり、劇場に立ち寄りたり。当たり前だったことが、コロナ禍では非日常となった。その大前提をいち早く取り込んで、エンターテインメントの形でタイムラインに出力したのが、劇団ノーマーツだった。劇場の代わりに、リモート環境そのものを舞台装置とした。まだお手本が存在しない。彼らは、その手法ごと物語を発明したのだ。私のような40代からすると、リモートで交わされる会話は畏まった仕事に限定される。20代、30代の、リモートで普通に遊ぶ感覚が大いに作品に投影されている。それが、何だかとても頼もしく思えた。（川田 十夢）

■劇団ノーマーツとは

「NO密で濃密なひとときを」をテーマに、オンライン演劇を主軸に活動するオンライン劇団。昨今の状況下で新たなエンタメの形を模索すべく、一度目の緊急事態宣言直後の2020年4月9日に結成。演劇、映画、広告、イベント業界の若手クリエイターが結集し、これまでTwitterをはじめとするSNSに20作品以上の「140秒Zoom演劇」作品を投稿、累計再生数は3000万回を突破。長編リモート演劇として『門外不出モトリアム』『むこうのくに』『それでも笑えれば』の3公演を上演し、有料チケット制ながら14,000人以上を動員。60th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDSクリエイティブイノベーション部門ACCゴールドを受賞。



NO密で濃密なひとときを

- ・公式サイト：<https://nomeets2020.studio.site/>
- ・Twitter：https://twitter.com/gekidan_nomeets
- ・Instagram：https://www.instagram.com/gekidan_nomeets/
- ・YouTube：<https://www.youtube.com/channel/UCT7hZww9WW94UmkxXjVMCLg>
- ・TikTok：<https://www.tiktok.com/@nomeets>

【当リリースに関するお問い合わせ】

劇団ノーマーツPR事務局（㈱ブラチナム内）担当：小田切、早瀬、千頭、濱村

TEL：03-5572-6071 Mail：gekidan_nomeets-pr@vectorinc.co.jp 携帯：090-9669-4544（小田切携帯）